

## 研修会報告

2023年1月15日

文責：伊藤 光汰

研修会テーマ「明日からの検査に役立つ心エコーの基本」

開催日時 2023年1月15日（日）13：30～16：50

会場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司会 伊藤 光汰

生涯教育点数 20点

参加者 会員参加者 40名 入会申請中会員 0名 非会員 0名 賛助会員 0名 学生 0名  
合計 40名

講演 1 「精度管理の報告」

講師： 東北医科薬科大学病院 田牧 真歩 技師

講演 2 「症例から学ぶ心エコーの極意」

症例提示： 石巻赤十字病院 秋田谷 美佑 技師

仙台市立病院 工藤 仁美 技師

講演 3 「正確な評価における装置の設定、計測方法」

講師： みやぎ県南中核病院 藤田 雅史 技師

16:50 終了

### 内容

今回の研修会は「明日からの検査に役立つ心エコーの基本」をテーマとして、例年同様に今年度の精度管理でも正解率の低かった装置の設定や計測方法についての講演を企画し開催した。また、経験の少ない症例などについても理解を深めていただく機会とするべく精度管理の報告、症例提示を企画した。講演 1 では R4 に行われた精度管理の報告・解説を行っていただき、正解された方もそうでない方も知識の再確認をするのに良い機会であったと思う。講演 2 では前半後半で 2 名の部門員に症例提示を行っていただいた。前半は①AR (大動脈弁閉鎖不全症) 2 症例、②ASD (心房中隔欠損症)、③壁運動低下、後半は①肺高血圧症、②心アミロイドーシス、③動脈管開存症の症例提示が行われた。AR の重症度評価の際のポイントや Qp/Qs の計測の際のポイント、病歴や身体所見の確認も重要であることなど基礎から応用まで解説いただき、参加者にとってはすぐに検査に生かせる内容であったと思う。講演 3 では「正確な評価における装置の設定、計測方法」に関して断層像編、ドプラ編に分けて講演をいただいた。超音波装置の特性を理解し装置の設定を適切に行うことで的確な超音波断面の描出が可能となり、より正確な計測・評価による検査の質の向上につながる事が再認識させられた内容であった。今後も宮城県臨床検査技師会員のために精度管理で正解率の低い分野などのフォローアップを行えるような研修会を継続して開催していきたい。